

労働力調査（基本集計）

平成28年（2016年）10～12月期平均（速報）

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6471万人と、前年同期に比べ72万人の増加
- ・ 完全失業者数は195万人と、前年同期に比べ12万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.9%と、前年同期に比べ0.2ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、東北、南関東、東海、近畿、中国、九州及び沖縄は増加、北陸は同数、北関東・甲信及び四国は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、東北、北関東・甲信、北陸、東海、近畿、中国及び九州は減少、北海道、四国及び沖縄は同数、南関東は増加
- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	3.3%	(0.1ポイント低下)	近畿	3.0%	(0.4ポイント低下)
東北	2.7%	(0.8 ")	中国	2.3%	(0.6 ")
南関東	3.2%	(0.1ポイント上昇)	四国	3.3%	(0.5ポイント上昇)
北関東・甲信	2.8%	(0.2ポイント低下)	九州	3.1%	(0.4ポイント低下)
北陸	2.4%	(0.3 ")	沖縄	3.6%	(1.1 ")
東海	2.5%	(0.1 ")			

図1 地域別完全失業率

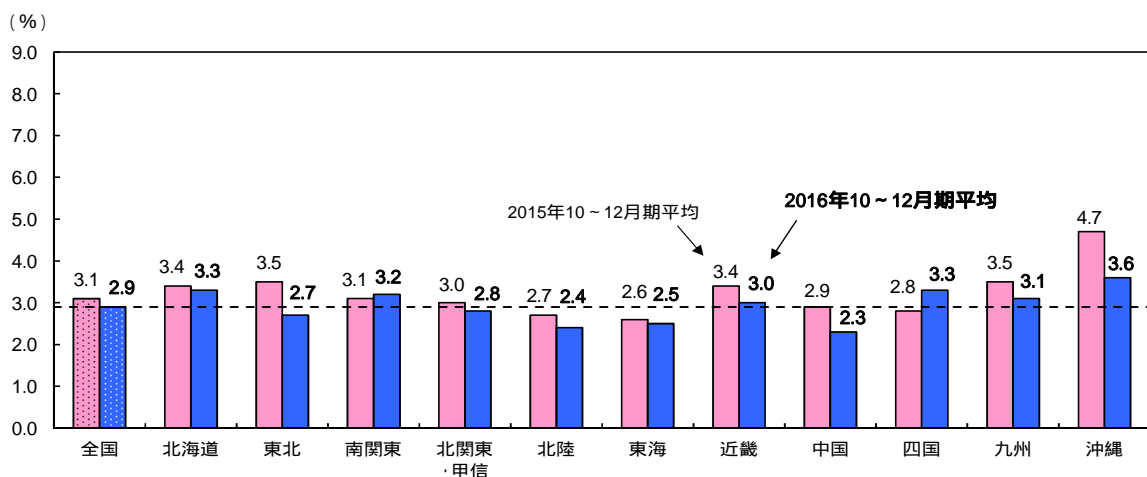


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

